人とライフステージを考える「第１１回生涯学習フェスティバル」

▶学習することで新しい可能性を見つけ、新たな自分を発見し、喜びを体験してもらおうと、１１月３０日・１２月１日・３日の３日間、保健福祉センターを会場に生涯学習フェスティバルが開かれました。

１１回目のことしは、生涯学習の新たな展開を求め、「生涯学習フェスティバル・ウィーク」として、「発見」がテーマ。１１月３０日には、映画「絵の中のぼくの村」に主演した松山拓吾・慶吾君（稲生小３年生）が登場。実行委員の田内稔さんが撮影時の様子などを質問。「ケンカの場面は、ほんとうに泣いた」「監督さんが怖かった」などと、答えていました。この後、京都大名誉教授の小野山節さん（十市出身）が「貫之の送別会と考古学」と題して講演。約１３０人の参加者が聞き入っていました。さらに、１２月１日は俳優音楽大助教授の元吉恵子さん（岩村出身）が歌を交えての講演「人生のパートナー！歌・愛・讃歌」を。１２月３日には愛媛県同和対策協議会婦人部長の江口徹子さんが「一人ひとり幸せ・みんな幸せ」と題して講演しました。

福祉バザー　格安の野菜に人気

▲十一月二十一日、恒例の福祉バザーが社会福祉センターで開かれました。市の社会福祉協議会、老人クラブ連合会、民生・児童委員協議会などが毎年行っているもの。会場には家庭で不用となった引き出物や、手芸品、日用雑貨品、取りたての野菜などがずらり。いずれも格安の品物ばかりとあって、大勢の市民が詰め掛け、飛ぶように売れていました。なお、この日の収益金約三十万円は社会福祉事業に役立てられます。

第一回南国市小学生駅伝大会

▶十一月二十三日、南国市小学生駅伝大会が、十市石土池周辺で行われました。子どもたちに駅伝競技に興味を持ってもらうことで、競技人口の拡大を図ろうと、南国市陸上競技協会がことし初めて開いたもの。この日は市内の小学校から十二チームが参加。開会式では、大篠小学校陸上クラブの岸本拓志君が「練習の成果が出せるよう、一生懸命走ります」と、力強く選手宣誓。この後、六区間（男女、各３区間）八・二キロのコースに参加した七十二人の選手は、保護者や沿道の人の声援を受けながら力走しました。

造園業協会が公園などの樹木を剪定

▶１１月３０日、南国市の造園業協会が市庁舎、公園などの樹木を剪定しました。

毎年、同協会の会員らがボランティアで行っているもので、この日は加入業者から１０人のメンバーが集まり、市庁舎の庭木を剪定。続いて、日吉町・駅前町の緑地公園の樹木を次々と剪定しました。

◀十一月二十四日、第三十三回保育まつりが、ＪＡ南国市野田ラノスセンターで開催されました。市保育所（園）保護者会連合会の主催。当日は、各保護者会の模擬店や舞台で繰り広げられる催し物に、終日大にぎわい。歯科医師会の歯のクイズでは、正解の発表のたびに大きな歓声が上がっていました。

▶１２月７日、仲間とともに創り出す音楽活動をとおして、自らの音楽の美しさを追求し、創造的な表現活動を進める子どもの育成を目指す、音楽教育研究発表会が市民体育館などで開催されました。市芸術文化研究所の主催。この中の公開授業では、各グループに分かれ、物語に合わせて作った音楽を発表しました。

◀１２月１０日、福祉の現状と、今何が求められているのかを、みんなで学び考えようと、市社会福祉センターで、市の在宅福祉を考える会が開かれました。ボランティア・グループあかつき会の呼びかけで初めて開いたもの。

この日は、福祉現場で働く職員や市民ら１３人が参加しました。

▲久礼田地区芸能大会が十二月一日、久礼田体育館で開かれ、地区の老人クラブや芸能サークルの会員らが自慢の踊りや芸を披露。久礼田地区公民館の主催でことしが五回目。

この日は地区内から団体・個人合わせ約五十人が出演。歌・踊り・詩吟などに、詰め掛けた約二百人の地区民が身を乗り出しての応援。会場からは盛んに拍手が沸き起こり、おひねりが飛ぶ場面も見られました。

▶十二月十四日、市民に人権意識の高揚と同和問題の正しい理解を求めて市と教育委員会の主催で、「人権のつどい」が開催されました。長岡小学校解放子ども会による「解放太鼓」が市庁舎二階市民ホールいっぱいに響いた後、会場を大会議室に移し、講師の宮崎保さんが、ギター片手に「子どもたちの未来を拓くために」と題して、楽しく「歌いながら」講演しました。

▲１１月２３日、大篠公民館で市体育協会設立３５周年および市陸上競技協会発足３０周年記念行事が、関係者約５０人の出席で行われました。

記念式典で浜田市長は、「３５周年を契機に体育協会のますますの発展を。また、平成１４年の高知国体に関し、市も組織・施設の整備を着々と進めている。国体開催に向けては体育協会の力が必要です」とあいさつ。この後、講師の岡宗武弘さん（高知新聞社運動部長）が、県スポーツ界の話題や、スポーツ選手の育成方法、指導者の心構えなどについて記念講演。参加者の多くは普段、選手・指導者として活躍している人で、熱心に聞き入っていました。

▼１１月２１日、学校給食の実態を把握しようと、９年度から実施する「特色ある学校給食」のモデル校に予定されている国府小学校を市長・教育委員長・教育長らが訪問し、児童と給食をともにしました。

この日は、２・３年生１８人が参加。５グループに分かれて丸テーブルを囲み、楽しい給食タイムを過ごしました。

戦没者追悼式

▶１２月６日、ホリデイホール（明見）で、遺族ら約５００人が出席して南国市戦没者追悼式（前：慰霊祭）が行われました。先の大戦などで亡くなった人たちの霊を慰めようと、市が毎年行っているもの。

まず、全員が黙とう。続いて浜田市長が「諸霊の払われた尊い犠牲を教訓に深く胸に刻み、平和を祈り市の繁栄と市民福祉の向上に全力を尽くします」と式辞。そして遺族代表らの追悼の辞の後、市内１５地区から出席した遺族全員と市、県の関係者が献花を行いました。

人権推進委員らが園児に風船をプレゼント

▶人権週間（十二月四日～十日）が始まった日、市の人権推進委員らが大篠保育所を訪問しました。子どもたちの人権を守ろうと、毎年六月と十二月の年二回、市内の保育所を回っているもの。この日は、人権推進委員六人と、市、法務局の関係者が参加。同委員らから「いじめ」しない・させない・見逃さない、と書かれた風船などをプレゼントされた園児七十六人は、「友だちとは仲よく遊んでいます」「風船をありがとう」などと、大喜びでした。